

平成 25 年度  
学校・家庭・地域の連携協力推進事業  
実践事例集



## はじめに

学校・家庭・地域の連携協力推進事業は、未来を担う子ども達を健やかにはぐくむため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一体となって子どもを育てる体制を整えることを目的として始まった事業です。

本県においては、平成 19 年度より「放課後子ども教室推進事業」、平成 20 年度より「学校支援地域本部事業」、平成 23 年度より「家庭教育支援事業」が実施されています。

本事例集では、今年度に「学校支援地域本部事業」「放課後子ども教室推進事業」「家庭教育支援事業」を実施している市町村の事例を掲載しております。他地区での取り組みを参考にいただき、それぞれの市町村での事業の推進及び活動内容の充実のために御活用いただければ幸いです。

結びにあたり、本事業の推進にご尽力いただきました各市町村教育委員会の皆様、学校の先生方、そして子どもたちを支援していただきましたコーディネーターや教育活動推進員、教育活動サポーター、ボランティアの皆様にご心より感謝いたします。また、本事例集発行のためご協力いただきました関係者の皆様方にお礼申し上げます。今後とも地域の方々に学校や子どもたちを支えていただき、本県での学校・家庭・地域の連携協力推進事業がますます充実していきますことを祈念しております。

沖縄県教育庁生涯学習振興課

# 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 実践事例集 目次

## 学校支援地域本部事業

宜野湾市	1
石垣市	2
浦添市	4
名護市	7
糸満市	11
沖縄市	13
豊見城市	25
うるま市	26
宮古島市	30
南城市	31
本部町	31
読谷村	32
北中城村	33
中城村	33
西原町	34
与那原町	34
南風原町	35
渡嘉敷村	36
八重瀬町	36
市町村活動状況一覧	37

## 放課後子ども教室推進事業

宜野湾市	39
石垣市	40
浦添市	42
名護市	47
糸満市	47
沖縄市	48
豊見城市	51
うるま市	53
宮古島市	56

本部町	58
読谷村	59
嘉手納町	60
北谷町	61
北中城村	62
中城村	63
与那原町	64
南風原町	65
伊是名村	67
久米島町	68
竹富町	71
事例紹介以外のデータ	73

## 家庭教育支援事業

石垣市	75
読谷村	76

# 宜野湾市学校支援地域本部事業(宜野湾市)

構成学校	市内8小学校・4中学校 計12小中学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	52人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間	1日 3時間×125日×2人		

## ◆代表的・特徴的な活動

- ・大学生による放課後の算数補習支援活動
- ・学習支援活動(個別・授業に入ってから補助等)
- ・6年生の保護者の方々による家庭科でのミシン補助
- ・保護者によるエプロン補修
- ・専門家による6年生への特別授業
- ・保護者による朝のチャレンジタイムの丸つけ
- ・大学生による個別学習支援
- ・地域人材による習字指導

## ◆工夫していること

- ・ボランティアしやすい環境づくりへの配慮願
- ・ボランティアのアフターケアを電話やメールで行い、ボランティアの人にもストレスのない環境を作る。
- ・ボランティア終了後、ボランティア同士の交流会をもち、要望などを聞いている。
- ・学校からの多様な要望に応えるために日ごろから保護者や地域への声掛けをして、つなげていける様にしている。
- ・保護者や地域ができる支援を把握するようにしている。
- ・市内にある大学のボランティア支援室や社会福祉協議会やはごろも学習センターとの連携を取り、ボランティアを募っている。
- ・自治会活動への積極的な参加。



朝のチャレンジタイムを活用しての〇つけ



保護者によるミシン指導



地域の環境を専門家から学ぶ  
(大山独自の環境を知る)

## ◆成果と課題

- 【学】がんばり教室の支援があり、年々卒業生の進学率が伸びている。
- 【学】継続的なチャレンジタイムの支援で子供達の学力が伸びている。
- 【コ】専門家から話を聞く事で広く深い知識にふれることが出来た。
- 【児】身近なお母さんたちに教えて貰うので気軽に質問できた。
- △【学】年々、授業についていけない生徒が増えている為、がんばり教室の拡大や新しい対策が必要になる。
- △【コ】ボランティア人材の固定化
- △【本部】各学校によって支援や要望に偏りがある。
- △【本部】各学校の情報共有

## 八島小学校支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣市立八島小学校				
開始年度	H25 年	登録ボランティア	100 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	八島小学校	勤務時間	71時間		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ①海上運動会(トントンミー運動会)の開催
- ②八島っ子あたりまえの10ヶ条の推進
- ③エーク踊りの創作とエークづくり
- ④児童の登下校における見守り活動
- ⑤八島小まつりの開催



### ◆工夫していること

- ・学校創立20周年の記念事業の組織、活動と結びつけて、地域連携を図った。
- ・特色ある活動(海上運動会、創作エーク踊りでの石垣島パレード参加等)を企画実施した。
- ・あたりまえの10ヶ条を家庭・地域と連携して、周知徹底を図った。



### ◆成果と課題

- OPTA会員とPTAOBを中心に、活動の輪を広げることができた。
- 東一組・東二組ハーリーの海人の皆さんに全面協力していただいた。
- 地域と連携することで、地域のよさを実感することができた。
- △活動に伴う材料費等の捻出。

## 新川小学校支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣市立新川小学校				
開始年度	H24 年	ボランティア人数	100 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	新川小学校	勤務時間	77時間		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・重機を活用しての水田づくり。
- ・重機を活用しての校庭整備。
- ・正門装飾アートの作成。
- ・親子ふれあい学校の実施補助。



### ◆工夫していること

- ・事前の打ち合わせをコーディネーターを中心に丁寧におこなった。
- ・PTA組織と連動して取り組みの充実を図る。
- ・教頭がしっかり学校の窓口になる。



### ◆成果と課題

- 【学】予算が付いたことで活動の幅が広がった。
- 【学】コーディネーターが学校と連携し学校が必要としている取り組みを積極的に援助してくれたので助かった。
- 【コ】学校職員もボランティアとして積極的に参加し地域との連携を図ってくれたのがよかった。
- △【コ】消耗品費が文具関係しか利用できない制限を無くしてほしい。

## 石垣小学校支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣市立石垣小学校				
開始年度	H25 年	登録ボランティア	50 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	石垣小学校	勤務時間	94時間		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・稲作体験活動  
(田んぼ作り、田植え～収穫～脱穀～精米)
- ・伝統芸能の指導
- ・ピオトープ、花壇の作成
- ・腐葉土置き場の整備



### ◆工夫していること

- ・活動がスムーズに行くように事前の打ち合わせを綿密にしている。
- ・教頭が保護者、地域関係者などの調整役となりコーディネーターと連絡を取りながら進める。



### ◆成果と課題

- 【コ】職員、保護者、地域人材を繋ぎ、活動が活性化した。
- 【学】学校職員だけではできない取組（環境整備、伝統芸能の指導、稲作体験など）に多くの支援が施され、充実した取組となった。
- △【コ】活動が増えることはいい事だがコーディネーター1人では負担が大きいので、人数を増やして欲しい。

## 大浜中学校区支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣市立大浜中学校				
開始年度	H22 年	ボランティア人数	60 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	大浜中学校	勤務時間	2時間×60回		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・校舎内外の環境整備・修繕
- ・交通安全指導
- ・部活動指導

### ◆工夫していること

- ・職員とコーディネーターの話し合いを持ち連携を図っている。



グラウンド砂場の作業

### ◆成果と課題

- 地域のボランティアの協力のおかげで普段職員だけでは出来ない活動ができた。
- ボランティアで参加してくれる地域の人達との連携が深まった。
- △ボランティアしてくれる人達が固定化している。

## 吉原小学校区支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣市立吉原小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	20 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	吉原小学校	勤務時間	20時間		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・環境整備 (1)農具小屋の修繕 (2)運動場や土置き場の整地
- ・学習支援の取組み (1)稲作り (2)水泳教室 (3)三線クラブ (4)サッカー教室
- ・安全・安心のための取組み (1)児童の登下校中見守りを地域の人に呼びかけお願いする。
- ・地域へ出向く取組み (1)地域行事へ児童や職員が参加 (2)敬老の日に地域のお年寄り宅を児童が尋ね祝福のメッセージを贈る (3)学校だよりを地域の店先に掲示し学校情報を提供

### ◆工夫していること

- ・地域の方々の理解や支援をいただくには、学校から地域へ出向くことも大事。地域と学校の双方向で支援が成立することにも配慮しながら取組むようにしている。
- ・活動を4つの項目(環境整備・学習支援・安全安心の取組・地域へ出向く取組)に分けて取り組んでいることで幅広い取組みができる。

### ◆成果と課題

- 学習支援の取組については、サッカー教室ができ広く西部地区の小学校にも呼びかける事で校内に活気がでてきた。
- △人口が少ない地域だけに、より積極的にこちらから出向き情報発信していく必要がある。



## 浦添中学校区支援地域本部事業(浦添市)

構成学校	浦添中学校 浦添小学校 前田小学校				
開始年度	H24 年	ボランティア人数	201 人	コーディネーター数	3 人
コーディネーターの配置場所	各学校	勤務時間	週6時間×35週		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援活動 ・補習タイムの採点ボランティア
- ・安全指導(登校時挨拶・声かけ、校外学習時)
- ・環境整備活動(支援教室開墾・ジャガイモ植え付け作業)
- ・おやじ&おふくろの会による地域交流・広報活動
- ・地域のボランティアによる昔あそびの伝承(「こども博物館」)



PTCAコーナーの様子

### ◆工夫していること

- ・学校に地域の大人が足を運んでもらえる企画を考える(PTCAコーナーの活用)
- ・おやじ&おふくろの会の通信を定例会後、保護者や地域に配付。情報共有の努力をしている
- ・終了後毎回ミーティングを行い次の活動にいかしている。
- ・学校の地域連携担当と連絡を密に行い、効率よいスケジュールの作成や課題改善に努めている。
- ・地域やPTAの様々な会議の際に、ボランティア活動に関する協力依頼をしている。

### ◆成果と課題

- 【コ】地域で挨拶する児童が増えた。 ○【コ】ボランティアの登録者が増えた。
- 【学】補習タイムでボランティアが採点を行うことで、担任による児童への指導にゆとりができた。
- 【学】児童の学力の定着が図られた。
- △【コ】学校行事等による時間割変更の際の連絡が行き届かなかった。
- △【コ】年間計画を立てゆとりをもって活動していきたい。
- △【コ】人材バンクの整理・更新の推進を図りたい。
- △【コ】学習支援の拡大と地域人材のより効果的な活用の推進を図りたい。
- △【学】学習ボランティアの大学生は前期、後期の単位でスケジュールを考えた方がよい。



## 仲西中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	仲西中学校 仲西小学校 浦城小学校 宮城小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	577 人	コーディネーター数	5 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	週6時間×35週	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・学校行事への支援
- ・児童の保健、健全育成に関する支援
- ・昔遊び授業支援として、地域老人会へ昔遊びの授業支援。また給食交流を通して世代間交流。
- ・学習支援
- ・部活動支援
- ・安心、安全支援
- ・環境整備支援（玄関の生け花ボランティア、中庭にオオゴマダラをとばす取組み）



地域ボランティア  
永年者表彰

### ◆工夫していること

- ・コーディネーターとして常日頃から地域の行事や人材発掘のための情報収集に努め、また積極的に地域行事を案内して生徒と地域の繋がりを作る。
- ・各種支援事業のうち定着してきた事業はできるだけ学校担当者（教諭）とボランティアさんで、実施運営できるように見守る立場をとるようにしている。
- ・永年にわたる支援に対して、表彰推薦を積極的に行う。
- ・PTA、読み聞かせサークル、地域自治会との情報交換等、各団体等の活動との調整を行っている。

### ◆成果と課題

- 【コ】教頭が連絡機関として機能しているので、学校に常駐しなくても事業の企画運営が行える。
- 【コ】学習が遅れがちな生徒へ声かけができ学習意欲につながった。
- 【コ】地域との交流が増えた。
- 【学】コーディネーターが学校側の急な要望にも迅速に動いてくれることで、とても助かっている。
- △【コ】昨年の事例以外の学校側ニーズの把握と支援時期の調整等が思うように進まなかった。
- △【コ】PTA以外の支援者の募集、活用が思うほど進まなかった。
- △【コ】ボランティアの意見を聞く時間が持てず、ボランティアの特性を十分に活かしきれなかった。

## 神森中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	神森中学校 神森小学校 内間小学校 沢岷小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	410 人	コーディネーター数	4 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	週6時間×35週	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・リサイクルボランティア（リサボラ）より中古ミシンの寄贈。ベルマークを集める。
- ・学習支援（学習の遅れ、教室に入れたい生徒への支援）
- ・登校時の安全指導（声かけ指導）
- ・不登校生徒の支援
- ・部活動支援（外部コーチによる支援）
- ・地域との交流（各クラスに地域の方が入り給食会。清掃を行い指導）
- ・学校行事等の協力、校内の花壇の手入れ、栽培園作りの支援。



### ◆工夫していること

- ・地域・PTA・教育懇談会で要望があり、朝の交通安全ボランティアは、名札を付けて行っている。
- ・地域との連携を深めるために、地域行事等へ生徒・教師に積極的に参加を促す。
- ・学校から要請があれば内容を検討しボランティア協力する。
- ・学校側との連携を強化し、生徒達の受け入れ体制をサポートする。

### ◆成果と課題

- 【コ】地域人材活用計画を基にしており、学校側と連携がスムーズである。
- 【コ】学校側と地域との相互理解がなされ、ボランティアも増えた。
- △【コ】学習支援では、支援者・生徒との時間の調整が困難である。

## 港川中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	港川中学校 牧港小学校 港川小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	117 人	コーディネーター数	3 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	週6時間×35週	

### ◆代表的・特徴的な活動

- 学習支援・・・各学年の授業に応じた学習支援に於ける地域人材の活用。
- 登校時立哨・・・PTAと連携した危険箇所での登校時見守り。
- 環境整備・・・校内の花壇整備や蝶園の整備。
- 学校の周年事業の式典・祝賀会、資金造成など地域との連携。
- 地域の民生委員・児童委員が学校の行事や児童の学習ボランティアに積極的に取り組んでいる。
- 避難訓練を学校を中心に大がかりに行った。各自治会も積極的に参加し、有意義な訓練を行った。



### ◆工夫していること

- 地域行事や地域活動へ参加し、コーディネーターを理解してもらい学校支援の呼びかけを行う。
- ボランティアの方々が気持ちよく活動してもらう為に事前の打ち合わせを行う。
- 週2回は来校。校長、教頭と活動について調整。
- 各自治会や地域の婦人会など地域の情報を学校と共有する。



### ◆成果と課題

- 【コ】地域の方々へ認知されたことでボランティアの声かけがしやすくなった。
- 【コ】環境整備は野菜作りなどを行い、収穫も楽しみながら整備をしてもらった。
- 【コ】児童のクラブ活動で琉球舞踊、三線、空手、小物作り等の活動を楽しく行えた。
- 【コ】2年生と自治会老人クラブとの昔遊びを行い、世代間交流ができた。
- 【学】窓口が1本化され連携がスムーズになった。
- △【コ】ボランティア通信等広報活動が必要である。
- △【学】休日も出勤することが多いのが課題である。

## 浦西中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	浦西中学校 当山小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	226 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	週6時間×35週	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援活動・・・3年生(国語)書写の時間にチーム指導。
- ・読み聞かせ・・・小学校は毎週月曜日、中学校は月2回読み聞かせを実施。
- ・クラブ活動支援・・・方言、囲碁、琉舞、三線、折り紙、お茶のクラブを支援。
- ・環境整備活動・・・花壇の土作り、花の植え付け、草取り、休日の花木への灌水等。トイレ掃除。校内の環境美化活動。



### ◆工夫していること

- ・毎月地域連携たよりを発行、進行中のボランティア活動を紹介している。併せて随時ボランティア募集を呼びかけている。撮った写真はまとめて掲示物にして紹介
- ・年度初めに、各学年の教育計画を基に地域人材活用計画を作成、活用計画書を基に、支援ボランティアの活用計画調整を行っている。
- ・朝の読み聞かせの際、1クラスは仕事、趣味などの経験の中で失敗、嬉しかったこと等を通して生徒に伝えたい事を保護者や地域の男性に話してもらってミニ講話を取り入れている。
- ・一時間程度を目途に負担にならない形で楽しみながら環境活動を行っている。



### ◆成果と課題

- 【コ】学校支援ボランティアの名簿を随時更新し、使える情報として整備している。
- 【コ】ミニ講話の依頼を保護者や地域の方々が積極的に受けてくれ学校への関心の深さが見られる。
- 【学】今年度4月、ハッピーボランティアの発足、活動で校内の環境美化がすすんでいる。
- △【コ】学習支援ボランティアについては、継続的に活動できる人材が少なく、必要数に足りない。
- △【コ】地域の方々以上に保護者のボランティアが多く集まってほしい。
- △【学】個々の児童への支援(学級、ヘルパー)が必要であるが専門性があるので即対応は難しい。

## 屋我地中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	屋我地中学校・屋我地小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア数	34 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

名桜大学ボランティア(学習支援・陸上部支援)  
海上保安庁活動表彰の調整  
読み聞かせ  
イカダづくり・イカダ競争支援  
環境整備(タイヤ花壇の撤去)



### ◆工夫していること

学校との意向の調整に、今後とも十分配慮してコーディネーターの活動を行っている。  
今後も多くのボランティアを活用し、子どもたちの活動を支えていきたい。

### ◆成果と課題

- 【生徒】大学生のボランティアに、また来てほしい。
- 【ボ】生徒が明るく迎えてくれるので、楽しく活動できる。
- 【学】大学生の学習支援ボランティアは、夏休みの部活動、補習指導と生徒に好評である。
- 【学】多くの学習や行事に地域のボランティアが参加して頂き、子どもたちの安全面が十分確保され、充実した活動が行われた。

## 羽地中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	羽地中学校・真喜屋小学校・羽地小学校・稲田小学校				
開始年度	H20 年	ボランティア数	187 人	コーディネーター数	5 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

朝の読み聞かせ  
学習支援ボランティアによる補習指導・援助  
運動会のエイサー指導と地謡の協力  
スクールガード(朝の見守り)  
保健行事支援 陸上競技の実技指導



### ◆工夫していること

日程変更などによるボランティアの方の空き時間を無駄にせず、学習支援(実技学習補助、補習学習補助、校外学習補助など)や行事の補助、読み聞かせ、図書貸出補助、図書整理、環境整備作業、花植など多岐にわたる活動を行えるよう工夫している。

### ◆成果と課題

- 【生徒】久しぶりに読み聞かせをしてもらいうれしかった。
- 【学】大学生の学習支援ボランティアの皆さんは、キャリア教育の観点からも、子供たちによい刺激になっている。
- 【学】教師の負担軽減となり、また児童と係わる時間確保へつながった。
- 【学】地域連携や開かれた学校づくりにつながっている。
- △【コ】学校側の要望にこたえられるようボランティアとの調整をしっかりとしていきたい。
- △【コ】担任等から要望のある時に人数確保が出来ないことがあり、課題である。
- 【学】授業参観の呼びかけをコーディネーターが積極的におこない、参加者が増えた。

## 屋部中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	屋部中学校・安和小学校・屋部小学校				
開始年度	H20年	ボランティア数	117人	コーディネーター数	6人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

読み聞かせ活動  
 退職教員・名桜大学生による学習支援ボランティア  
 運動会演技指導・支援（エイサー・地方・踊り）  
 交通安全・あいさつ運動  
 環境整備（畑・せせらぎ・草刈り）



### ◆工夫していること

「部活指導者」「地域の警官」「環境整備」「読み聞かせ」に係わって下さっている方々をお招きした「感謝集会・給食交流会」は児童にとっても感謝をする良い機会になった。  
 読み聞かせスケジュール表の作成  
 学習支援ボランティアと先生との連携（連絡ノートの活用）  
 学生ボランティアの学習、部活動支援者の事前研修を実施

### ◆成果と課題

- 【児童】惜しい間違えをきちんと直してくれたりしたので、テストでも良い点が取れるようになりました。分かりやすいので、先生（学習支援ボランティア）と一緒に勉強していきたいです。
- 【ボ】活動していることを子ども達に感謝され、喜んでもらって嬉しい。
- 【学】多くの出会いや支援がキャリア教育につながっていると実感している。
- △【コ】ボランティアの確保については、常に課題。

## 名護中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	名護中学校・名護小学校・大北小学校				
開始年度	H20年	ボランティア数	149人	コーディネーター数	5人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・てんたばる語れー会（地域の人達による朝の時間の講話） <写真>⇒
- ・朝の読み聞かせ
- ・学習支援（名桜大学学生ボランティア）



### ◆工夫していること

- ・常に地域との連携を取る必要があるため、日頃から学校へ足を運び、学校側と密に情報交換を行うことが大切である。
- ・読み聞かせ後、ボランティアが集まって情報交換会を開催している。

### ◆成果と課題

- 【児童・生徒】わからないところや疑問に思うことを気軽に聞いて楽しく勉強ができる。
- 【ボ】子ども達と一緒に活動することはとっても楽しい。可能な限り子ども達のために力をかけてあげたい。
- △【学】学校側の支援計画（時間・内容）をもっと明確にし、学生との時間調整をして有効な活用をしていく。
- △【学】校内担当者の前年度からの引き継ぎ。
- △【コ】学生ボランティアの来れる時間帯と学校の希望する時間が合わない。
- △【コ】名桜大生の空き時間を上手に活用できなかったりしたのが反省点。

## 久志中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	久志中学校・久志小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア数	24 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・地域の職業人等の講話



英語での読み聞かせ

### ◆工夫していること

- ・ボランティアとの事前調整

### ◆成果と課題

- 【学】子ども達は真剣に読み者の話をしっかり聞くことにより本への興味が深まった。
- △【学校・コ】課題として、読み者の人数が限られているため負担がある。読み者の拡大が必要。

## 久辺中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	久辺中学校・久辺小学校				
開始年度	平成23 年	ボランティア数	81 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 平和学習
- 地域懇談会
- 夏休み夜間パトロール
- 運動会演技の指導・支援
- 本の読み聞かせ
- 見守り活動
- マイクロバスの運転手依頼



### ◆工夫していること

- 見守り活動を行っている老人会へ参加し、日頃の感謝を伝えている。
- 読み聞かせボランティアとの意見交換を行っている。

### ◆成果と課題

- 【学】地域団体と小中PTAとで連携したパトロールが実施できた。
- 【学】地域の方による演技指導等の協力のおかげで、運動会で素晴らしい演技を披露することができた。
- △【学】地域教育コーディネーターの効果的な活用と連携。
- △【学】地域資源（人材や施設設備）の積極活用。
- △【コ】ボランティアの人員確保。

## 東江中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	東江中学校・東江小学校・瀬喜田小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア数	54 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

朝の読み聞かせ  
 名桜大学生による学習支援  
 平和学習  
 プール活動支援  
 ハロウィンパーティーの実施  
 ムーチャー作り



### ◆工夫していること

コーディネーターが頻繁に学校に足を運んで、情報交換を密にすることができた。

### ◆成果と課題

- 【児童】ボランティアの消防署のお兄さんたちが来てくれたので、楽しくプール学習ができた。
- 【学】学校側が必要としている人材を探して頂き、有意義な学習ができた。
- 【コ】パーティーの企画、ムーチャー作り等、地域の人材をうまく活用し行事の支援をすることができた。
- 【コ】学習支援・部活動支援、地域の方より朝の交通安全指導、朝の読み聞かせなど、活動の場を広げることができた。
- △【コ】学習支援ボランティアの確保や退職教員の活用について課題が残る。
- △【コ】学生ボランティアの登録をもう少し増やしたい。

## 大宮中学校区地域連携協議会(名護市)

構成学校	大宮中学校・大宮小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	101 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	4時間×1日×52週		

### ◆代表的・特徴的な活動

読み聞かせ・講話  
 夏休みフリースクール(公民館)  
 大型紙芝居の読み聞かせ活動



### ◆工夫していること

配置スケジュール表を作成して効率よく読み聞かせができるように工夫した。

### ◆成果と課題

- 【児童・生徒】読み聞かせ・講話ボランティアの日が楽しみ。
- 【ボ】子供達の笑顔からたくさんパワーをもらっています。
- 【ボ】学校以外でもたくさんの子供達が声をかけてくれ地域ボランティアをやって良かったと実感した。
- △【学校・コ】読み聞かせ・講話ボランティアとの反省会及び次年度計画。
- △【学校・コ】コーディネーターの役割・活動の体制づくり、人材リストの更新。
- △【コ】ボランティアの方々を児童、職員に紹介する場が持てなかった。
- △【コ】読み聞かせボランティアの人員確保。

## 潮平中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	潮平中学校 潮平小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア人数	30 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所		勤務時間			

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・ボランティア人材の募集
- ・地域への活動内容・事業の周知
- ・地域活動、人材の情報収集
- ・学習支援（習字の指導、特別支援）
- ・学習支援（家庭科手縫い、ミシンサポート）



### ◆工夫していること

- ・他の市町村との交流、情報交換会
- ・学年同日時の活動の時は、ボランティアの必要人数に登録数が足りないため、学級PTAへ声掛けをしていただいている。又、校区外、市外の方々にも協力依頼している。（登録していただいている。）

### ◆成果と課題

- 【本部】本部内の学校と地域の方の交流がもてた。
- 【学】書道教室に通っていない児童もお手本が見られたところは、よかった。
- △【本部】ボランティアどうしの交流会ができればよい。
- △【コ】学年のクラスが多いため、ボランティアの数が足りない。

## 西崎中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	西崎中学校、西崎小学校、光洋小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア人数	80 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間			

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・書道学習支援（西崎小、光洋小）
- ・生活科学習支援ジャガイモの植え付け（西崎小）
- ・生活科昔遊びの伝達（西崎小）
- ・総合キャリア教育（西崎小）
- ・低学年学習支援（光洋小）



### ◆工夫していること

- ・ボランティア終了後、アンケートに答えてもらう。
- ・できるだけボランティアの方の要望を聞く。
- ・PTAや自治体の定例会や祭りに参加したくさんの人に会う。
- ・できるだけ学校に足を運び先生から情報をもらう。



### ◆成果と課題

- 【コ】地域の方との交流が増え地域の様子も分かるようになった。
- 【学】子供たちが地域の方々とふれあいができてよかった。
- 【学】目標を意識して前向きに考える子が増えた。



## 兼城中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	兼城中学校、兼城小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア人数	35 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	兼城小学校	勤務時間			

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・地域での登下校見守りや安全指導
- ・学校行事での積極的な協力体制



### ◆工夫していること

- ・ボランティア同士での情報交換会を実施している。
- ・自治会やPTAとの連携を深めるため、会合を実施している。



### ◆成果と課題

- 【学】挨拶が増えてきて、行動も機敏になった。
- △【本部】活動の内容をもっと理解してもらいボランティアを増やしたい。

## 糸満中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	糸満中学校、糸満小学校、糸満南小学校				
開始年度	H23 年	ボランティア人数	60 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間			

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・国際交流と平和学習通訳サポート、学習支援TT (糸満中)
- ・水泳指導員ボランティアサポート (糸満小)
- ・平和学習轟の壕見学サポート (糸満南小)
- ・6年生家庭科授業ミシンサポート (糸満小)
- ・1年生プリント、漢字検定教室〇つけサポート (糸満南小)



### ◆工夫していること

- ・サポート終了後出来るだけアンケートを記入してもらおう→今後の活動の参考にする
- ・事前の打ち合わせをしっかりとる→日時、内容などボランティアの方々に詳しく伝える
- ・ボランティア、先生、生徒の生の声を聞く→アンケートだけで拾えない意見を聞く
- ・学校に顔を出して、顔を覚えてもらう。→その場で依頼が来る事も
- ・学校に報告書を提出して支援の内容を知ってもらう→支援を頼みやすい環境を作る

### ◆成果と課題

- 【コ】前年度の活用を参考に、依頼やボランティアの登録が増えた。
- 【学】調理実習、ミシンなど、より細かい指導ができました。
- 【学】生徒達の学習意欲が向上し、点数も上がってきた。
- 【ボ】子供達が喜んでくれました。また参加したいです。





## 越来小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	越来小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	80人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	越来小学校	勤務時間	週4時間程度		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の丸付けボランティア(毎週月・水・木の朝)
- ・登校指導及びあいさつ指導(毎朝)
- ・地域老人会による安全見守り(毎朝)
- ・地域老人会シルバー人材による安全見守り(毎週水曜放課後)
- ・読み聞かせ(毎週金曜日の朝)
- ・学校行事への協力(運動会エイサー三線地謡など)



ボランティアによる丸つけの様子

### ◆工夫していること

- ・ボランティア間の情報交換会を実施している。
- ・地域連携室を設置。
- ・年間計画を立て、見通しを持てるようにしている(各学年や学校の取り組みを一覧表にまとめている)
- ・学校と地域との人的・物的な関わりを持った活動(取組み)を意識している(そろばん指導・七夕の際の笹の提供など)

ボランティアによる  
素読みの風景



### ◆成果と課題

- 【学】H25優れた「地域による学校支援活動」文部科学大臣表彰
- 【学】児童の安全確保に大きく貢献
- 【学】児童と地域の方々との交流に大きく貢献
- 【学】学習支援で児童の基礎的・基本的な学習の力がつきつつある
- △【本部】職員のニーズに対応した人材確保・発掘などの連携の回り方
- △【本部】学校とコーディネーターとの連携の回り方(定期的な話し合い)

## コザ小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	コザ小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	35人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	コザ小学校	勤務時間	不定期		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・一年間とおして、地域の老人会による毎朝の交通安全指導
- ・朝ドリルのマル付け(週1回)
- ・読み聞かせ(月2回)



図書館ボランティア

### ◆工夫していること

- ・ボランティア活動後、反省会を設け情報交換を行っている。
- ・読み聞かせのお勉強会をひらいて技術の向上を行っている。
- ・地域ボランティアさんへの感謝会を行っている。

### ◆成果と課題

- 【学】地域安全ボランティアの日々の安全指導により、児童が安心安全に登校できるようになった。また、読み聞かせや○付けボランティアの積極的な取り組みにより、読書への興味関心や読書意欲の向上及び基礎学力への充実が図られた。
- △【コ】ボランティアさんの人員を増やす。

## 中の町小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	中の町小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	120人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	中の町小学校	勤務時間	4時間×5日×180日		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・地域住民と保護者による朝の交通安全指導
- ・プリント学習のまる付け
- ・年間を通しての環境美化活動
- ・地域の方によるキャリア教育講師



### ◆工夫していること

- ・ボランティア活動の様子を掲示板に掲示
- ・学校支援だよりと学校のスケジュール表を作成し保護者や地域の方へ配布
- ・名札を作成しボランティアの内容も明記し活動してもらっている。



### ◆成果と課題

- 【学】地域の方と児童のコミュニケーションがとれるようになった。
- 【学】先生の仕事の負担が軽減された。
- 【学】地域の方や保護者が気軽に学校に入れるようになった。
- 【学】学校がきれいになった。

## 安慶田小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	安慶田小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	20人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	安慶田小学校	勤務時間	7:30～12:00		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 1.朝の交通安全指導（登校見守り活動）
- 2.環境整備  
（プランターや鉢に花を植える作業や管理の補助）
- 3.プリントの○付け補助
- 4.朝の読み聞かせ

朝の交通安全指導



プリントの○付け補助



### ◆工夫していること

- ・職員室横の相談室をコーディネーター控室として割り当て、教師の要望に応えられるようにしている。
- ・空き教材園をボランティアに提供、野菜等の栽培を理科や生活科の教材として活用している。
- ・11月の感謝集会でボランティアの皆さんを紹介し感謝の気持ちを伝えている。

環境整備



### ◆成果と課題

- 【学】毎朝、登校の安全が確保されている。
- 【学】毎日のボランティア活動では校内が綺麗に整備されている。
- 【学】教材園で落花生を栽培し、特別支援学級とのジーマーミ豆腐作りで交流ができた。
- △【本部】ボランティアの登録人数の確保
- △【学】下校の交通安全指導（下校見守り活動）

朝の読み聞かせ



ジーマーミ豆腐作り

## 諸見小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	諸見小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	59人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	諸見小学校	勤務時間	月曜日～金曜日 9:00～12:00		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の交通安全指導・下校時安全指導
- ・朝の読み聞かせ
- ・学校環境整備（花壇の整備等）
- ・学習ボランティア（習字、家庭科等）



### ◆工夫していること

- ・ボランティアの方と情報交換会を持ち、交流を図る。
- ・PTAと連携を図る為PTA作業に参加
- ・自治会に定期的に訪問



### ◆成果と課題

- 【本部】地域の理解が深まり、ボランティアとして積極的に参加してくれるようになった。
- △【本部】活動の内容によってボランティアの人数に偏りがあり、参加者の拡大が課題。

## 島袋小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	島袋小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	62人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	島袋小学校	勤務時間	13時～17時		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・4年生が毎年、校内にサトウキビを植えを行い、キビ刈から黒糖作りまでをおこなう。
- ・5年生と地域とが一体となり総合の時間に方言やしめ縄づくり等、お年寄りや青年会と関わる。
- ・5・6年生のキャリア教育で毎年、6業種の方を招いて「お仕事講演会」を開く。
- ・学校・児童、メンター、地域、サポーターが一体となり、ジョブシャドウイングが行われた。

### ◆工夫していること

- ・担任と地域とを繋ぐときは、時間と内容を双方に明確にする。
- ・元々ある、地域力やボランティア力が長く活かせるよう、自治会や青年会との関わりに注意を払う。



### ◆成果と課題

- 【コ】○付けボランティアや読み聞かせボランティアが充分なされるようになった。
- 【コ】環境整備は地域ボランティアの方が積極的に参加できる雰囲気がある。
- 【学】5年生が総合の学習を通して地域と積極的に関わり協力を得て斜めの関係ができた。
- 【本部】コーディネーターからの今必要としていることに親として参加できて、関わってよかった。

## 山内小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	山内小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	105人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	山内小学校	勤務時間	4時間×5日×36週		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・入学式の受付
- ・1年生への読み聞かせ（大型絵本・パネルシアター等）
- ・ゲストティーチャーによる授業（学校医の命の授業・書道の授業）
- ・12月にサンタ帽をかぶり交通安全指導
- ・学習支援活動（読み聞かせ・補習〇つけ・学校行事の補助）
- ・環境整備（樹木の剪定・蝶園の整備）



### ◆工夫していること

- ・事業への理解と協力を得るために参観日や学校説明会、公民館活動等で広報を行った
- ・封筒にボランティア募集の印刷をして自治会や学校アンケート等に利用した



### ◆成果と課題

- 【学】学校と地域ボランティアの連携が図られ活動が充実してきた（緑化支援・登下校安全指導・読み聞かせ）
- △【学】ゲストティーチャーによる授業を年間計画に位置づけ、各教科領域での活用をはかりたい
- △【コ】保護者のボランティアをさらに広げていきたい

## 北美小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	北美小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	170人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	北美小学校	勤務時間	月～金8:00～18:00の間の1日4時間、週約20時間		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時交通安全指導・下校パトロール・読み聞かせ・丸付けボランティア・校外学習引率補助・授業支援（英語、点字学習、キャリア教育、平和学習、習字、家庭科など）・環境整備・クラブ活動指導（華道・茶道）・部活動指導補助・運動会での学校周辺巡視（地域青年会）

### ◆工夫していること

- ・ボランティアは事前のオリエンテーション、紹介式を行う
- ・丸付けボランティア、登下校ボランティア、読み聞かせ活動、その他活動においては毎月予定表を作成、配布し役割分担と連絡調整を明確にしている。
- ・各活動ごとに年2～3回の反省会と地域連絡教育協議会を持ち、次の活動へとつなげている。
- ・「コーディネーター通信」を年2回発行し、年間活動の様子を掲載し、全世帯へ配布。
- ・自治会や老人会、こども会の総会・会合へ参加する事で、地域人材の情報を得る。
- ・特色は地域農家の協力で菊栽培見学やトウモロコシ収穫体験。
- ・読み聞かせ活動では、方言や英語を取り入れ、手作りパネルシアターや大型絵巻等を作成し小学校だけでなく、地域の中学校や各種施設、図書館でも披露している。



習字指導



英語授業支援  
ハロウィン



丸付けボランティア



登下校指導



家庭科授業支援



読み聞かせ

### ◆成果と課題

- 【学】地域ボランティアとの連携で総合学習の充実が図られている。
- 【学】交通安全ボランティア活動で、大きな事件事故もなく、安全な登下校ができています。
- 【コ】読み聞かせ活動では、手作りパネルシアター制作などでボランティア同士の絆も深まった。
- 【コ】地域の施設、老人ホームや障がい者支援施設等との交流がさらに深まった。
- △【コ】ボランティアの人員拡大が進まないこと。同じ人が複数のボランティアを掛け持ちしている。
- △【コ】学生ボランティアの活用。

## 美里小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美里小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	200人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	美里小学校	勤務時間	10:00～12:00、15:00～17:00		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・毎週木曜日の朝に読み聞かせを行っている。
- ・エプロンシアター、指人形、巻き巻き絵本の作成。
- ・延べ人数約2,500人による登下校の安全指導
- ・シルバーさんや女子会による登下校時の安全パトロール
- ・祭りへの自治会、老人会、婦人会、青年会の参加と協力
- ・地域ボランティアとしてほぼ毎日、草取りや枝打ち等、校庭の環境美化に努めている。



ボランティア美化活動

### ◆工夫していること

- ・ボランティア終了後は情報交換会を行っている。
- ・PTAと自治会、老人会の地域組織と連携を密にするため、足繁く会合に参加している。
- ・行事後は、お礼を直接言いに行くように心がけている。(時間のない場合は、お礼状を送る)



読み聞かせ

### ◆成果と課題

- 【本部】自治会や老人会など地域の理解が深まり、ボランティアに積極的に参加するようになった。
- 【本部】コーディネーターと学校との連携が図られた。
- 【本部】電話連絡により、交通安全指導への参加が増えた。
- 【学】子ども達のあいさつが増えた。
- △【本部】交通安全指導時におけるリーダーとなる保護者の育成。

朝の交通安全指導



## 美東小学校支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美東小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	112人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	美東小学校事務室	勤務時間	1日4時間×週5日(2人で調整)		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ(ふくろうの会)：毎週木曜日に読み聞かせを行っている。幼稚園でも読み聞かせを行いボランティア参加者を募集している
- ・帰宅指導(喜児夢庭の会)：毎週水曜日に実施
- ・学習支援(太鼓指導)：特別支援学級にて指導。6年生の卒業祝い読み聞かせ会で成果を発表
- ・(丸つけ)(実技教科)：ドリルタイムに各クラスで丸つけ。図工、家庭科サポート
- ・(クラブ指導)：地域の方に生け花、琉舞、陶芸の指導をしていただいた

### ◆工夫していること

- ・年度初めにPTA全世帯にボランティア募集のチラシを配布したり入学式に直接保護者に説明
- ・職員連絡会で学校支援地域支援本部の説明をする
- ・市の広報誌とともにボランティア募集のチラシを各自治会に配布依頼
- ・事務室配置でPTA事務や職員と連携がとりやすい
- ・6月に児童朝会で登校・下校安全見守り隊を紹介



### ◆成果と課題

- 【学】ミシンの使い方・丸つけなどのサポートで「わかりやすい」「早くできた」と学習意欲がたかまった。
- 【学】多くのボランティアと関わる事で感謝の気持ちを持ち、挨拶が上手になった。
- 【コ】地域やPTAの理解が深まりこころよくボランティアを引き受けてくれる方がふえた。
- △【コ】丸つけボランティア、登校下校見守り隊など今後も随時募集していく。